

去る11月12日(月)、甲賀圏域地域連携検討会主催で「病院と介護支援専門員との連絡調整会議」(全体会)を開催して、今年度の取り組みをご報告し、みなさんからご意見をいただきました。

【H29年度の課題】

短い入院期間でも、患者さんが安心して、スムーズな入退院支援が必要！
新規ケースの退院支援は特にあわただしくて困るよね。

病院と地域で、できることはないかな・・・

【平成30年度の取り組み】

①入院早期から在宅療養生活を意識したりハビリの支援

自宅の写真を撮影して 病院へ情報提供する時のポイントをまとめた冊子を作製。

②医療情報共有ノートの作成

緊急連絡先や、人生の最終段階における医療についての意思表示、利用サービス・家族状況、治療内容、日々の観察項目などをまとめたファイルを作成。

③フィードバックカンファレンスの開催

個々の入退院支援が適切であったか、病棟看護師と訪問看護師が中心となって振り返りを行うためのカンファレンス開催要領を策定。

*詳細は3～5ページの写真(例)を参照して下さい。

反映

会議名	病院と介護支援専門員との連絡調整会議(全体会)	甲賀圏域地域連携検討会
開催日	平成30年11月12日(月)	2か月に1回(年5回、第2火曜日)
人数	83名	37名(20～30名が参加)
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・病院(看護部長、病棟師長・病棟看護師、地域連携担当者等) ・訪問看護師 ・介護支援専門員 ・行政職員(地域包括支援センター、市役所担当課、保健所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内7病院の地域連携担当 ・訪問看護師の代表 ・介護支援専門員の代表 ・地域包括支援センター職員 ・市役所担当課 ・保健所

課題検討、入退院支援ルール等ツールの見直し

活動報告・意見交換

全体会の感想・ご意見など



- ・在宅で一番長く過ごしている場所の写真もほしい。
- ・医療情報共有ノートを主に記入する人は誰なんだろう？
- ・自宅や病院での一日、一週間の流れが分かると助かる・・・。
- ・入退院を繰り返す人のフィードバックカンファレンスを開催して、ケアを振り返りたい。
- ・様式はホームページに掲載してダウンロードできるといいな。
 - ・新規ケースは、入院中から訪問看護に連携してもらおうとスムーズ。
 - ・ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の住民啓発が必要！

参加者からのコメント



佐竹 晴美 様

病院と介護支援専門員の連携調整会議に参加してきました。この会議は、毎年のように参加をしています。開始当初は、まだ、連携という言葉がなかなか浸透していない感がありグループワークもぎこちなかったという感じがしていましたが、今は、普段から連携がなされてきているためか参加をしていて、どのグループも意見交換が活発で話し合う内容もより、連携を意識した内容という印象がもてました。今後もこのような機会を作ることで、甲賀圏域の医療と介護の切れ目のない連携が図れることを期待しています。

甲賀圏域地域連携検討会事務局より



多数のご意見やご感想ありがとうございました。更に運用や活用がしやすいように各班で検討を行い、体制を整えていきたいと考えています。皆様のご協力をお願いします。

平成30年度の取り組み 写真(例)



① 自宅写真の撮影ポイントをまとめた冊子

【自宅写真の撮り方のポイント】

退院後のご自宅での生活を安心して過ごしていただくために、ご自宅の玄関やトイレ、浴槽の高さなどを撮影し、高さなどを測定していただき、入居中のリハビリテーションや看護に活用させていただきます！

【玄関】

- ① 玄関へのアプローチ
(通路から玄関まで、見通せるように)
- ② 玄関中の全体が見える様に、引いて撮る。
(2方向くらいから)
- ③ 高さや奥行きなどを測定してください。
(ティッシュペーパーなどを置いて撮影も可)
 - ・玄関出入口の段差
 - ・上がりかまちの高さ
 - ・手すりの高さ など

【浴室】

- ① 浴室全体、入り口の位置がわかるように引いて撮る (2方向くらいから)
- ② 高さや奥行きなどを測定してください。(ティッシュペーパーなどを置いて可)
 - ・入り口の幅・段差
 - ・洗い場の奥行き・幅
 - ・浴槽の高さ、浴槽の深さ
 - ・シャワー
 - ・手すりの高さ など

【トイレ】

- ① トイレ全体、入り口の位置がわかるように引いて撮る (2方向くらいから)
- ② 高さや奥行きなどを測定してください。(ティッシュペーパーなどを置いて可)
 - ・入り口の幅・段差、奥行き
 - ・便座の高さ
 - ・手すりの高さ など

【寝室・居室】

- ① 寝室全体、入り口の位置がわかるように引いて撮る
- ② 高さや奥行きなどを測定してください。(ティッシュペーパーなどを置いて可)
 - ・入り口の幅・段差
 - ・ベッドの高さ、イスの高さなど

【ご自宅の見取図】

- ① できれば、玄関へのアプローチ (通路から玄関まで) がわかるようにお書きください。
- ② 段差がある場合、☆印を記入してください。

制作：甲斐國地域福祉検討会 (2018)

②医療情報共有ノート

医療情報共有ノート

このノートは保健医療福祉サービスを、安全・円滑に利用するためのものです。

本人・家族とサービス提供機関が、情報を共有することで、より快適な在宅生活をしていただく手助けするためのノートです。

サービスを利用するときは、できるだけ担当者にこの手帳を提示してください。

必要な情報を記録したり、薬の情報をファイルするなどして記録を残すようにしてください。

氏名

発行者：甲賀圏地域連携検討会

もくじ

- 経過用紙
- 緊急時の連絡表
主医師、家族・親族
- 関係者連絡リスト
- 緊急時の治療希望

以下○の書類は、クリアファイルに入れてください

- 連絡網
- 内服薬処方の説明書
- 保険証のコピー
- 介護保険サービス提供表

- サービス提供機関のみなさまへのお願い等

※

関係者連絡リスト

	所属	担当者	連絡先
ケアマネージャー			
訪問看護			
訪問介護			
調剤薬局			
通所介護			
訪問入浴			
人工呼吸器提供会社			
在宅酸素提供会社			

※内服薬処方の説明書や、保険証のコピー、介護保険サービス提供表、関係者連絡網などをクリアファイルに、入れてください。

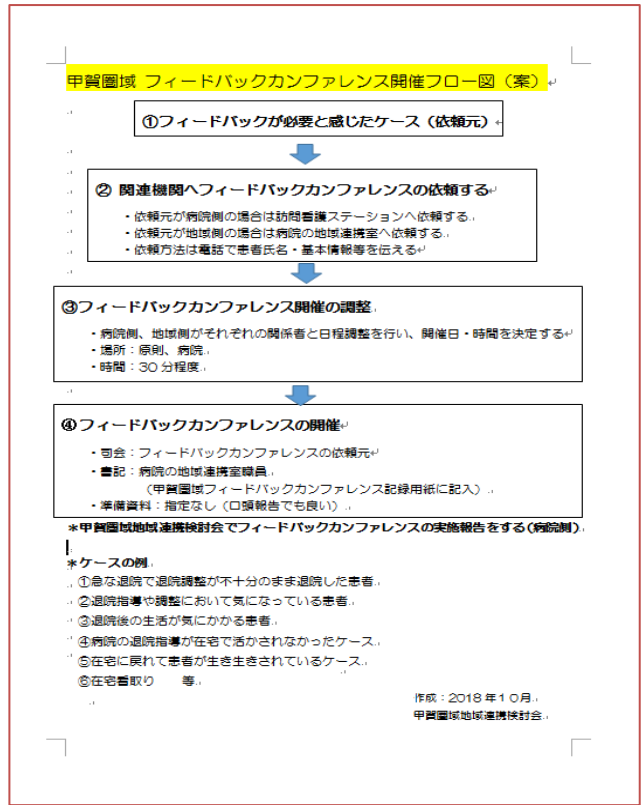
	今日の出来事・本人の様子・身体の様子など	バイタル・特記事項	伝言・備考
日		体温 ℃	
脈		脈拍 回/分	
血圧		血圧 / mmHg	
SpO2		SpO2 %	
尿量		尿量 ml	
排便			
日		体温 ℃	
脈		脈拍 回/分	
血圧		血圧 / mmHg	
SpO2		SpO2 %	
尿量		尿量 ml	
排便			

③フィードバックカンファレンス開催要領

「甲賀圏域フィードバックカンファレンス」について

近年、医療機関の機能分化が進められ病院の在院日数短縮化が進む中、患者が円滑に在宅医療に移行するためには、地域の医療、介護、福祉などの多機関多職種連携が要に重要となる。

今年度、甲賀圏域では「フィードバックカンファレンス」の体制作りに取り組んでいる。目的は、①病院職員が退院後の患者家族の様子を知り、実施した退院支援・調整を振り返ることで退院支援・調整力を向上させる。②患者が住み慣れた場所で安心して暮らしている様子を知ること、在宅医療・看護・介護に関する理解と知識を深めることである。



甲賀圏域フィードバックカンファレンス記録用紙（案）

施設名：〇〇訪問看護ステーション

開催月	依頼先	患者年齢	疾患名	ケース	患者や家族の状況	フィードバックカンファレンスを実施して情報共有できたことや感想など
9月	甲賀病院	80台	脳梗塞	④と⑤	認知症・老老介護。リハビリも頑張り笑顔で過ごしている。内服管理ができていない。	訪看やヘルパーの訪問、通所リハサービスを利用することで在宅療養が可能であり、在宅に戻れて患者・家族は笑顔で過ごされている。今後、薬剤指導の方法と評価が課題である。

記載例

*ケースの例

- ①急な退院で退院調整が不十分のまま退院した患者
- ②退院指導や調整において気になっている患者
- ③退院後の生活が気にかかる患者
- ④病院の退院指導が在宅で活かされなかったケース
- ⑤在宅に戻れて患者が生き生きと生活されているケース
- ⑥在宅看取り
- ⑦その他

この用紙は年度末の最後の甲賀圏域地域連携検討会で提出して下さい。

作成：2018年10月 甲賀圏域地域連携検討会